

市報

やまぐち

昭和57年

2月1日

No.829

人の動き(1月1日現在)

人口	114,967(+211)
男	55,242(+107)
女	59,725(+104)
世帯数	39,575(+39)
()	内は前月との比較

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 (株)丸二商行

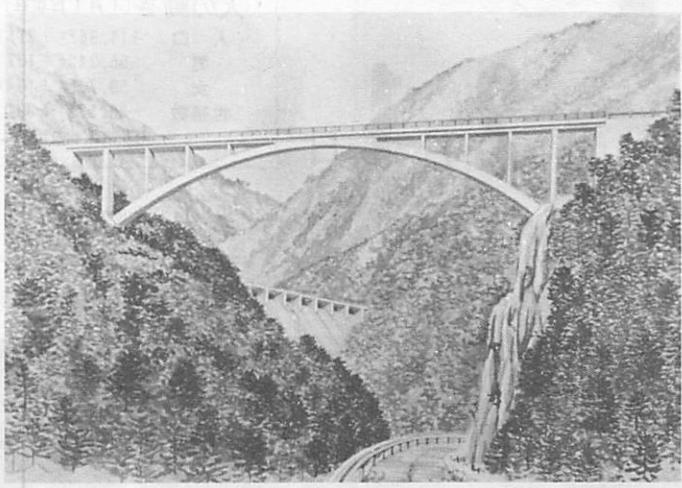


息をはずませ600人 市民ロード大会

市民ロードレース大会が、成人の日の1月15日、県陸上競技場で、小学生から50歳代まで約600人の選手が参加して開かれました。
この大会は今年で20回目を迎え、最近のジョギングブームを反映して、55年(56年は雪のため中止)の約2倍の

参加者がありました。
時折吹く強い風のため、記録的にはもう一步でしたが、選手たちは、2報から10報まで、それぞれのコースに挑戦しました。額に汗し、息をはずませながら完走した選手たちのさわやかな姿は、とても印象的でした。

県庁裏の五十鈴川ダムの完成に続いて、現在、山口県榎野川総合開発事務所(塩見利夫所長・後河原松柄)では、天花に一の坂ダム、さらに秘境の地荒谷に、多目的ダムとして荒谷ダムの建設を進めています。この二つのダムが完成すると、すべての市民が洪水による災害の危険から救われるだけでなく、ダム周辺の観光開発も加わって、観光客の心を安らげる憩いの別天地になると期待されています。



市街地から約十一キロ、訪れる人のロマンを呼ぶ、荒谷ダムと荒谷橋(完成予想図)

谷ム 荒ダ

60年度完成をめざす

治水・上水の多目的ダム

榎野川は、市の中央部を貫流し、仁保川、一の坂川等を合流して瀬戸内海に注いでいます。古くから同河川の水は、田畑のかんがい用水に利用されるほか、伏流水を取水して上水道に利用されています。しかし、昭和四十二年および四十八年の異常干ばつ、四十七年の集中豪雨による被害、また、生活様式の近代化に伴う水需要の急速な伸びなどから、洪水調節、流水の正常な機能の維持、ならびに上水道用水の供給を目的とした、多目的ダムを建設する必要があります。と期待されています。

貯水量五百二十万リットルで、総事業費は七十五億円です。水道用水の供給で、山口・小郡地域水道企業団(山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町)では、このダムの水源を利用して、小郡町上郷地点で一日九万リットルを取水して、一市三町に水道用水を供給しようとしています。

ダムの完成で水害が防げる

また、観光面では、同ダム沿いの奥道宮野上佐々並線の沿線に「二十一世紀の森」整備事業で桜が植栽される計画もあり、ダムの完成する六十年度には、桜の名所になるものと期待されています。

四囲の山に映えるダムとアーチ橋

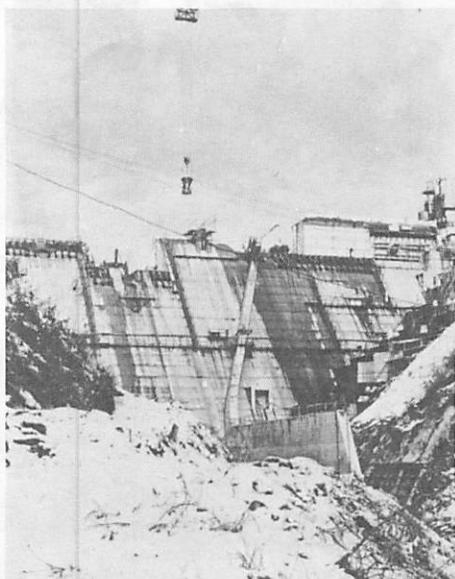
完成するダムは、重力式コンクリートダムで、えん堤は高さ五十八メートル、長さ百五十七メートル、総

貯余りを整備する計画です。また、奥道宮野上佐々並線の取り付け口からダムまでに、三百四十二メートルの工事用道路を兼ねた林道が完成しますが、その途中、ダムの下流に「荒谷橋」が架設されます。この橋は、コンクリートのアーチ橋で、ダムと橋が完成したあかつきには、春は新緑、秋は紅葉と、四囲の山々が織りなす自然と相まって、訪れる人々の心をなごませてくれることでしょう。

県庁から至近距離 県下で3番目の治水ダム

一ダの坂ム

市街地を貫流する一の坂川は、シウウゲン山と東鳳凰山(ひがしほうべんざん)にその源を発し、南々東に流下して、榎野川に合流し、瀬戸内海に注いでいます。川の両岸には、古都の歴史を刻む構築物や、桜・柳などが見られるほか、初夏には市民の目を楽ませてくれる、天然記念物の源氏ボタルが飛び交い、また、カシカの鳴き声も道行く人の風情を誘います。ところがその一の坂川も、再三にわたる集中豪雨による河川のはん濫で、下流周辺に多くの被害を引き起こすため、県はこれまで、同河川の護岸工事を施



今年11月の完成をメドに、急ピッチで工事が進む一の坂ダム

「私たちのまち山口」
下水、待望の供用開始

市では、毎週日曜日午前十一時五十分から五十分間、TBSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。二月中の日曜日は、河端下水道部次長の生活環境の改善

に役立つ、公共下水道に関する話を中心に、昨年十二月に完成した「湯田中継ポンプ場」と平川の最南端に建設された「浄水センター」を紹介しています。

工したり、河床を低く掘り下げなどの工法を取り入れてきました。しかし、これも根本的な解消にはならず、ついに治水と河川用水の確保をねらい、同河川の上流(天花畑)にダムを建設して、水量調節をして放流する計画をたてたものです。このため、四十六年度と四十七年度の二年間で岩質調査、四十九年度から奥道佐々並山線につけ替え工事、五十四年七月、ダムの本体工事に着手し、五十七年十一月の完成をメドに工事が進んでいます。完成するダムは重力式コンクリートダムで、えん堤は高さ四十二メートル、長さ百四十二メートル、総貯水量百四十八万五千リットルで、総事業費は移転補償などを含め、六十七億五千万円です。また、同ダムは長門市の大江ダム、宇部市の今富ダムの次いで、県下で三番目の治水ダムになります。市街地、特に県庁舎から二キロ余りの至近距離に建設されるものとして、他に例がないと言われています。



2億7百万円を投入して大内御堀に建設中の第5水源配水池

この計画では五十一年度までを一期工事として、既に第四水源池(平川福良)の整備を終えています。二期工事は、五十二年度から六十年の計画で、五十七年度に終える予定にしています。工事の内容は、大内殿河内に八千二百平方メートルの水源地を確保し、山口市では最初の満州井戸方式(別図)を採用し、地下

上水の需要増に備え 水道拡張事業が進む

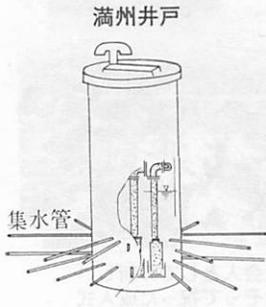
山口市 水道

八ヶ付近の伏流水をポンプで汲み上げます。(第五水源池、五十六年三月完成) 汲み上げた水は、仁保川にかけた水管橋から国道二六二号バイパスを通して、清掃事務所

57年度終了をメドに 6次拡張事業が進む

水道局では上水道の需要の増大に備えて、第六次拡張事業を、四十八年度から十九年計画で進めています。この計画では五十一年度まで

県の中核管理機能を備えた都市として、教育、文化、流通等の諸施設をはじめ、市街地周辺の住宅施設や下水道施設の整備が進んでいます。こうした整備に合わせ、産業規模の拡大と生活水準の向上に伴う生活様式の近代化等によって、水の需要はますます増大してきます。そこで水道局では、市民生活に欠くことのできない水を供給するために、第六次拡張事業を進めています。



(大内御堀)横の山林に築造した貯水池にいったん貯水します。その水を自然流下方式で、大内地域と宮野地域の一部に配水し、未普及地域の解消と低水圧地域の増圧を計ろうとするものです。

環境にマッチした 水管橋が大内に完成

第六次拡張事業のひとつで、中国自動車道の山口インターチェンジから約二キロ、萩と防府を結ぶ国道二六二号バイパスの仁保川にかかる「長野大橋」の上流約三十メートルの位置に、日本で最

初の斜張補剛型式水管橋(橋長六十九・八メートル)が完成しました。この型式は、これまで橋りょうとしては数多く見られますが水管橋では、全国で初めてと言われています。架設場所の河床付近(大内殿河内)は岩盤で、土木工事が困難であるため水管橋方式にしたもので、型式としては「斜張補剛型式」のほか、「トラス補剛型式」「ランガー補剛型式」等がありますが、橋間、現場環境、工事費等の関係から、斜張補剛型式が最も適していると判断されたものです。そのほかこの水管橋の架設に当っては、長野大橋が斜角であ



経済性と美観を考慮して、わが国で最初に架設された斜張補剛型式の仁保川水管橋

るため、その勾配とのつり合いがとれること、右岸の住宅団地からの視界を妨げないこと、同団地の背後の山林と左岸の田園風景にマッチしたものであること、強度・美観の面で満足できるものであることなど、様々な角度から検討されています。架設設備費は、設計監理費を含めて一億六千二百二十万円で、五十六年三月に完成しています。国道二六二号バイパスが完成し、通行が可能になると、この水管橋のすぐ横を通ることになり、観光面からの期待もできそうです。

大内文化の華とうたわれた西の京山口。その名にふさわしい会館にと、昭和四十六年に建設された文化の殿堂「山口市民会館」。中央二丁目五番一号の位置にその偉容を誇り、国道九号線に沿うなど交通の便がきわめてよい場所にあります。同年八月二十五日の開館以来、県都山口の文化・芸術・福祉の向上には欠かせぬ存在となり、同館を利用して、全国規模の大会から、子供からお年寄りを対象にした情操・生涯教育をめぐす発表会、展覧会のほか、大衆に喜ばれる芸能や格調高い演奏会、映画会などに幅広く利用されます。利用度は県下公共文化施設随一で、市民と文化の結び付きを如実に表わしているものと思われまます。同館には、館長以下四人の職員と、業務委託による職員三人が勤務しています。組織は館長のほか、管理係、施設係、企画係の三つの係があります。管理係は、一般庶務事務と



舞台上手の2階に位置する調光室で、照明の調整をしている係員

会館運営の全般的なもの、施設係は、電気、機械設備、舞台装置等を、企画係は、自主文化事業の計画実施を分担します。また、業務の委託による市公営施設管理公社の三人は、会館の窓口事務および運営の一部を担当します。このほか技術部門の舞台、照明、音響等の操作、保守、催物

おじやましまーす

市民会館



成人として、また社会人としての新しい人生のスタート。こぞって祝った成人式

祝・成人 20はたはちの意見

一月十五日、市民会館大ホールで山口市成人式が開かれました。

晴れ着やスーツに身を固めた新成人を前に堀市長の「大人の権利を得た反面、義務も負います。自分を厳しく見つめて欲しい」とあいさつがあった後、先輩の吉永敏子さんが激励。これに対して、山下由美子さんと宮本博さんがはたちの意見を発表しました。



山下さん

今日は、多くの方々に成人を祝福していただき、本当にありがとうございます。この世に生を受け、早二十年が過ぎました。月日がたつのは、本当に早い

ものだといつづく思います。私は一昨年高校を卒業し、就職いたしました。もうすぐ二年が過ぎようとしています。その間、いろいろな事がありました。失敗もたくさんしました。壁に突き当たったりすることもありました。仕事の面でも難

後悔のない人生を 大歳 山下由美子さん

こと。また、自分の無力さに対する不安もありました。少なくとも、一人前の人間として扱ってもらうためには、自分自身のことには、自分で責任を持たねばならないこと。また、まわりの人たちがみんな、将来の目的・抱負を持っていて、私一人、具体的に何をしたいという理想も持たず、自分一人取り残されたような気がし、私は将来何をすべきなのか考えることもしばしばありました。

いいことがたくさんあり、毎日教えられることはあります。これまでの長い学校生活を振り返ってみると、私のまわりには、いつでも両親や先生方、それに多くの友だちがいて、私はそれらの人々に甘えていればよかった。全く、温室的なところでぬくぬくと育ててきた、というような気がします。しかし、学校を出て、一人の社会人として実社会に出たとき、何か身のひきしまるものを感じました。これまでのような甘い考え方は、もはや通用しなくなった。これまでもいろいろな甘い考え方は、もはや通用しなくなりました。後悔することのないようにしていかなければならないと思うようになってきました。私たちは、まだ人生の半分も生きてはいません。私たちの前途には、無限の可能性がありま

成功するにせよ、失敗するにせよ、可能性は無限にあるのです。私たちはその可能性を信じ、たゆまず努力し、いつも前進しなければなりません。そして、自分の正しいかと思つたとおり生きていかなければなりません。何も恐れることなく恥じることなく、精一杯生きていかなければなりません。私たち若者は、未来の無限の可能性に向かって、絶えず前進しなければなりません。それが私たちの生き方だと思っております。



守・破・離

中国の古い言葉に、「守・破・離」という言葉があります。「守はまず基本を忠実に守り、これをしっかりと身に付けなさい。基本が身に付いたら、次はその殻を破り、縦横に 응용駆使できる実力を養いなさい。実力が身に付いたら、その時こそ前人未到の高嶺を目ざして新天地を開拓しなさい」という意味です。中国数千年の歴史が生んだ至言であり、基本の大切さを教える言葉だと思えます。およそ芸事や技術を身に付ける上では当然のこと、子供のしつけから人生万般にわたって、人として生きる心構えとしても通用する実に味のある言葉ではないでしょうか。



太陽熱を利用した 県警察学校



市街地から約十キロ離れた、仁保下郷に建設された県警察学校。五万七千平方メートルの敷地に、五十五年四月から造成工事に着手し、昨年十二月に校舎が完成しました。同校は鉄筋コンクリート造四階建の本館と二百六十四人が収容できる学生寮のほか、八つの教室と合同教室、鑑識教室、図書室、資料室、視聴覚室があります。また、鉄骨造の模擬派出所をはじめ、犯罪捜査の基本を体得させるため、一般家庭を想定して作られた模擬家屋があるほか、鉄筋コンクリート造二階建の道場があり、一階

成人となったこの日を機会に
社会人としての自覚をより一層
深く、社会の「ルール」を守り、
日々努力し、無限の可能性に向
かって精一杯生きていきたいと
思います。

そのためにも、これから一人
立ちする私たちを見守ってくだ
さい。そして、いろいろと指
導をお願いいたします。
本日は、本当にありがとうございます。
導いてくださると思います。
もうひとつ、二十歳になると
参政権を得ます。投票権は、社
会の一員として参加していくた
めの重要な義務であり、大きな
権利です。
政治を見つめ、しくみを知り、
確固とした政治観を持ち、この
義務を果たさねばなりません。
本日は、このような盛大な式
を催していただき、どうもあり
がとうございました。
今日という日を、今までの自
分を反省し、大人のひとりとし
ての、新しい自分の出発点とし
たいと思います。今日まで私た
ちを支えてくださった皆さんに
感謝し、これからもご指導くだ
さるようお願いして、二十歳の
意見とさせていただきます。

行動に責任もつて

小鯖 宮本 博さん

私たちは今日、成人式を迎え、
未熟ですが大人の仲間入りをす
ることになりました。社会の一
員として、二十歳になることに、
一抹の不安を感じます。
私たちは未熟です。しかし、

未熟な若者だからこそ、優れて
いるところ、若者だからこそ出
来ることがあると思うのです。
現代社会は急速に進歩し、発
展しています。

技術革新の時代とか、コンピ
ューター世代とか言われています。
そんな時代に、私たち若者
の柔軟な頭脳と、体力の果たす
役割は大きいのではないでしょ
うか。

未知のものへ勇氣を持って挑
戦することや、可能性を求める
ことは、私たちの特権であり、



宮本 さん

や、他のボランティアサークル
の方々と接し、対外的にも交流
の機会を設けています。
しかしながら、あくまで学生
のサークルであるため、実質的

最も大切にすべ
きものだと思います。
時には、不完
全さゆえの暴走
があるかも知れ
ません。未熟だと甘えが出てく
るかも知れません。しかし、これ
からは社会の一員として、山口
市民のひとりとして、また、ひと
りの大人として自覚し、自分を
しっかりと見つめ、責任ある行
動をとらなければなりません。
私たちより、はるかに多くの
経験を重ね、多くの知恵をお
持ちになっていらっしゃる先輩
の方々から、教えを仰ぐことも
大切だと思います。
生活する上で、物事を考えて
いく上での糧となり、私たちを

導いてくださると思いが、持
ち前の若さと団結力で明るく日々
の活動に励んでいます。
自分の手掛けた点訳本が完成し
て図書館に納められ、盲人の方

わが山口大学点訳グループ
「はらっぱの会」が発足してか
ら七年余り。当初、数人しかい
なかつた会員も、現在では、総
勢六十九人にものぼり、年々、
充実しつつあります。

活動内容は、日ごろ、
私たちの身近にある書
物を、盲人の方々にも
読んでもらうために点
訳して、図書館に納め
る作業を中心としています。ま
た、盲社会人野球大会や、いく
つかの記念行事に参加させても
らうことにより、レクリエーシ
ョン等を通して、盲人の方々

障害者に思いやりを



会長 田中和男

な個人の活動期間は短くて、毎
年顔ぶれが変わってしまうとい
ったあたりまでです。そのため何
か経験不足に陥りがちで、今
だに試行錯誤の連続です。この

なりの根気が必要ですが、持ち
前の若さと団結力で明るく日々
の活動に励んでいます。
自分の手掛けた点訳本が完成し
て図書館に納められ、盲人の方

この会は、単に学生時代の思
い出づくりの場として
ではなく、我々が卒業
して、社会の一員とし
ての役割を担うように
なった日にも、この会
での体験を生かすこと
により、障害者の方の立場にな
って考え、「みんながひとりの
ために」という思いやりの心を
大切にしていきたくと思っています。

「うるるるる」 鑄銭司 民謡グループ



「昨年の練習成果に、更に
みがきをかけて、今年はもう
一步前進させ、できれば一人
で歌えるようにしていきたい」
内田要先生(今宿東)は、
新年最初の練習日に、こうあ
いさつしました。
内田さんは、上田流尺八準
師範でもあり、その尺八に合
わせて生徒は手拍子を打ちな
がら歌います。
鑄銭司民謡クラブ(会長は
岡本誠一さん・四辻)は、五
十六年四月、公民館の自主グ
ループとして発足しました。
発足のきっかけは、鑄銭司
公民館が新築され、少し経過
した五十五年八月、同館が翌
年の三月まで開講した、民謡
教室の受講生三十六人のう
ち、有志が中心となつてつく
つたもので、現在会員は男性
五人、女性二十人です。練習
日は、毎月第二、第四火曜日
午後八時から九時三十分まで
で、会費は、月六百元です。
昼間は勤めて、月人もいま
す。その一人、広島ミツ子さ
ん(四辻)は「平均寿命は八
十歳余り。四十歳までは生活
に追われ、これからの人生を
どう生きようかと考えていた
とき、岡本ハル(四辻)さん
に勧められ入会しました。歌
つてみると昼間の疲れも忘れ
ます」と言っています。
また、最初からの会員松崎
千里さん(今宿西)は「沈ん
だ心では民謡は歌えませんが
心が安定した時の声には張り
があります。年齢を忘れ本当
に楽しいものです」と話しま
す。歌っているときは、乙女
時代に戻ったような無心な表
情です。男性の会員の
一人、松崎政太郎さん
(今宿東)は「クラブ
に出席してみんなと話
し合えるのが楽しい」と話
します。練習の途
中には十分余りの休け
い時間があり、月当番
三人が湯茶を接待し、
みんなでおしゃべりを
楽しめます。
「和気あいあいとな
るべく長続きさせ、歌
声を地区全域に広げたい」と内田先生は指導
に力を入れます。



歴史の道「萩往還」を復元

散策道として活用をはかる

毛利藩の参勤交代道として主要街道であった歴史の道「萩往還」の復元事業に一月二十日から着工しました。山口市区内の事業主体は市教育委員会、国(文化庁)や県からの補助を得て五カ年で行います。

全国で4番目の「歴史の道」復元事業

私たちの日常生活は、道路網の整備によって非常に便利なものになっています。しかし、一方では、歴史を知る上で、残しておかなければならない道も、「開発」という名のもとに取り壊され、また、放置されたままになって、その価値を失いつつあります。

文化庁では、こうした廃れゆく歴史の道を往時の姿に復元整備し、歴史を学ぶ散策道や自然に親しむ場として活用をはかるため、昭和五十三年、和歌山県の「熊野参詣道」、長野県の「中山道」、宮城県の「奥の細道」の復元を国の補助事業としました。工期は、いずれも五十六年度

までです。

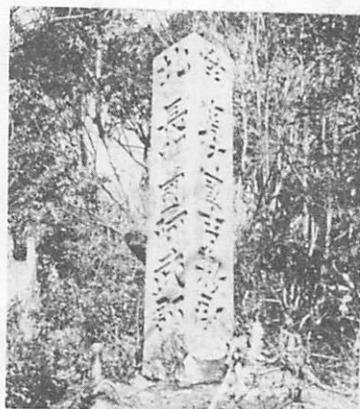
このたび、「萩往還」の復元が認められたのも、文化庁が定めている歴史的価値水準を上まわり、かつ、物理的に復元が可能で、復元後の活用に十分な期待がもてるからです。

補助事業に指定された場合、国からは事業費の五十割が、県からは二十割の補助があります。

今なお残る六軒茶屋跡

歴史の道「萩往還」は、左上の図のように、萩唐櫃札場から三田尻船場跡までの間、約五十三キロで、行政区域は、萩市、旭村、山口市、防府市の三市一村です。

このうち、山口市部分では、旭村との境界付近にある「国境の碑」から市営バス天竺線の終点となっている天竺畑バス停付近までの約二千五百メートルを復元します。この間には、天竺畑から登っていくと、錦鶏の滝、六



周防国と長門国の境を印す「国境の碑」。高さは210センチあります



六軒茶屋跡

昭和44年まで人家のあった六軒茶屋跡

工法は、基礎工事を除いてコンクリートは使わず、土や木、石などを路面に敷き、道幅は四メートル。街道だけでなく、茶屋など史跡の復元整備も行います。山口市部分の総事業費は一億三千万円で、今年度分は一千万円です。

軒茶屋跡、一の坂一里塚、一貫石、駕籠建場跡、キンテヂミ清水、一の坂銀山跡、国境の碑などがあり、往時をしのばせる史跡や心の安らぐ自然が今も残っています。歩いても、片道三十分ばかりで途中、県道山口佐々並線が交差しているため、すぐ近くまで車で行くこともできます。

道幅は4メートル
土や木、石による自然道

事業年度は、六十年度までの五カ年で、今年度は、航空測量による道路図面を作成し、六軒茶屋跡付近の百メートルの道を復元します。

「入学通知」は届きましたか

四月から小学校へ入学する皆さんへ、入学通知書を発送しました。今年入学する人は、昭和五十年四月二日から五十一一年四月一日までに生まれた人と、就学義務猶予を解かれた人および日本国籍がない人で入学児に該当し、保護者から申し出があった人です。該当者で入学通知が届かない人は、市教育委員会学校教育課(☎二二二三四)へお問い合わせください。なお、入学式は、名田島小学校が四月八日、そのほかの小学校は四月九日です。

市・県民税の申告

相談会場を設けます

昭和五十七年度分市・県民税の申告は、二月十六日から三月十五日までです。市では、所得の計算方法や書き方などの相談に応じる申告相談会場を次のとおり設けます。

市・県民税申告相談会場

期日	会場	対象地区	時間
2月16日	平川出張所	平川	9:00~16:00
17日	鑄銭司公民館	銭司	9:30~16:00
18日	嘉川公民館	嘉川	9:30~16:00
19日	小鯖公民館	小鯖	9:00~16:00
22日	大内出張所	大内	9:00~16:00
23日	佐山公民館	佐山	9:30~16:00
24日	仁保公民館	仁保	9:00~16:00
25日	名田島公民館	名田島	9:30~16:00
26日	二島公民館	秋穂二島	9:30~16:00
3月1日	日野公民館	日野	9:00~16:00
2日	宮吉公民館	宮吉	9:00~16:00
3日	陶公民館	陶	9:30~16:00
4日	大歳公民館	大歳	9:00~16:00
5日	市役所課税課(2階)	大田 殿石田	(平日) 8:30~16:30
15日			(土曜日) 8:30~12:00

1歳6か月児健康診査

- 日時 2月24日(水) 受付時間は午後1時～2時
- 場所 市役所内市民ホール
- 対象児 昭和55年8月1日から8月31日までに生まれた幼児
- 診査内容 医師による内科、歯科の健康診査、身体測定、保健指導など
- 料金は無料です。受診者は母子手帳をご持参ください。なお、嘉川、佐山、名田島、秋穂二島、陶、鑄銭司地区の幼児は、4月27日(火)に陶隣保館で行います。

市中心障害児療育講演会・療育相談会

- 期日 2月17日(水)
- 場所 <講演会> 午前10時30分～12時 市民会館小ホール <療育相談会> 午後1時～3時30分 市中央公民館
- 講師 高松鶴吉先生(北九州市立総合療育センター所長・医学博士)
- 演題 「地域における障害児の療育システムについて(障害児の早期発見・早期療育のあり方)」
- 療育相談 小児科、児童心理、言語障害、機能回復訓練、総合相談の5部門に分けて専門の先生が相談に応じます。相談を希望される人は、2月10日までに市福祉課(☎22-4111)に申し込みください。対象は、市内在住者です
- 聴講料・相談料 いずれも無料

市民会館開館10周年記念特別演奏会

前橋汀子・弘中孝ジョイントコンサート

- 日時 2月20日(土) 開場午後2時、開演午後3時
- 場所 市民会館大ホール
- 出演者 前橋汀子(バイオリン)・前橋由子(ピアノ伴奏)、弘中孝(ピアノ・山口市出身)
- 演奏曲目 「ツイゴイネルワイゼン」(サラサーテ)、「シャコンヌ」(バッハ)、「即興曲作品90」(シューベルト)など6曲
- 入場料 A席 2,000円、B席 1,500円 C席 1,000円
- 問い合わせ 市民会館(☎23-1000)へ

第3回山口市川柳大会

- 日時 2月28日(日) 午前10時30分～午後2時30分
- 場所 市中央公民館(視聴覚室)
- 参加資格 市内在住または在勤の人(投句は受け付けません)
- 課題 「重ねる」「列」「意気」「人」「ガラス」(各題2句、席題なし)
- 参加料 800円(軽食代を含む)
- 主催 山口文化協会、山口川柳吟社、陶八雲川柳会
- 問い合わせ 山口川柳吟社(円政寺町・金子たけしさん宅☎22-0876)へ

お知らせ



人や車が少なくなった夜中に、探知棒を耳に当てて、2人1組で漏水調査をする水道局職員

2月8日～3月下旬 漏水調査を実施します

水道局では、二月八日(月)から三月下旬にかけて、金・土・日曜日を除き、午後十時から午前三時ごろまで給水区域(大内・白石・湯田)の配水管と給水管の漏水調査を行います。

止水栓や量水器の設置場所によつては、宅地内に立ち入ることもありますので、ご協力くださるようお願いいたします。

調査員は、水道局の腕章をつけております。万一、ご不審な点がありましたら、水道局(☎二二-〇〇〇四)へご連絡ください。

なお、寒い日が続いています。水道管が凍って水が出ないときは、凍った箇所には布やタオルを巻つけ、その上から少しづつ熱湯をかけてください。

市育児相談センター

気軽にご利用ください

愛児園平川保育所内に、山口市育児相談センターが設置されています。

同相談センターでは、乳幼児の育児や養育についての悩みなどをお持ちの方に対して、いろいろな相談に応じるとともに、正しい育児のあり方についての講座も適宜開催しています。お気軽にご相談ください。

日時 保育所開所日(土、日、

県建国記念の日奉祝会

- 主催 県建国記念の日奉祝会
- 日時 2月11日午前9時から
- 奉祝祭典 山口大神宮
- 日の丸行進 午前9時20分山口大神宮出発、市中行進
- 祝賀式 午前10時30分から市民会館

冬の水辺の鳥を観察する会

- 日時 2月11日午前10時～12時
- 場所 平川河川公園一帯
- 集合 秋穂渡瀬橋上流 養魚場付近
- 主催 日本野鳥の会山口県支部
- 小雨、小雪程度の場合は、決行されますので、ご参加ください。雨天のときは、2月14日に延期されます。会費は無料です。

教育講演会

- 日時 2月12日(金) 午後1時30分～3時30分
- 場所 市民会館大ホール
- 演題 「陶房雑話」
- 講師 沈 寿官先生(薩摩焼宗家)
- 入場料 無料
- 主催 県中学校長会
- 共催 県教育委員会、市教育委員会

県立図書館 2月月間展示

- 「野鳥(やちよう)展」
- 期間 2月1日～27日(月曜日休館)
- 場所 県立山口図書館(2階)
- 展示資料 約70点

火災情報

種別	建物	林野	車両	その他	計
12月中の発生件数	4	—	—	—	4
昨年の計	25	8	4	7	44
12月中の発生原因	アイロンの過熱 煙突の過熱 子供の火遊び かまど				

公正取引委員会 消費者モニター募集

公正取引委員会では、次にようり、昭和五十七年度の消費者モニターを募集しています。

■場所 愛児園平川保育所内(山口大学通り丸久北側)

■問い合わせ 同保育所(☎二五-四九九七)または市福祉課福祉第二係(☎二二-四一一一)へ

■資格 二十歳以上の日本人

■人員 中国五県で七十人

■モニターの仕事 年数回のアンケートに回答し、消費者の立場からの要望、情報、意見を随時同委員会に提出する。

■任期 四月から一年間

■謝礼 年一万二千元(予定)

■応募方法 三月十日までに所定の申込書で市商工観光課へ(申込用紙は、市商工観光課にあります)

留守家庭の児童学級 入級児を募集します

留守家庭の児童学級、若草学級(下堅小路、市福祉センター)と山彦学級(湯田温泉五丁目)と山彦文化センター内)で、次により入級児を募集しています。

対象 四月に入學する児童

育成料 月千五百円

育成時間 下校時午後五後

募集人員 若干人

申し込み 二月十六日から二十七日まで市福祉センター

備え付けの申込書で

2月の休日当番医	日	外科系		内科系		外科系		内科系			
		病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話		
	7	坂本整形外科	山口☎5566	赤川医院	山口☎0299	小 林 外 科	小郡☎1515	上 郷 医 院	小郡☎0916	小 野 医 院	秋穂 2353
	11	外 河 脳 外 科	山口☎1333	尼 崎 医 院	山口☎1771	吉 武 医 院	秋穂 2330	田 中 内 科	小郡☎2325	新 井 医 院	阿知須2048
	14	田 村 外 科	山口☎7527	安 保 医 院	山口☎7681	林 病 院	小郡☎0411	河 端 内 科	小郡☎3820	三 河 内 医 院	秋穂 2711
	21	村 田 整 形 外 科	山口☎5765	カ ワ ノ 医 院	山口☎3464	共 立 病 院	阿知須2200	岡 村 医 院	小郡☎2053	佐 藤 医 院	阿知須2126
	28	淵 上 整 形 外 科	山口☎6644	池 田 内 科	山口☎1049	嘉 村 外 科	小郡☎2513	柳 澤 小 児 科	小郡☎3121	共 立 病 院	阿知須2200

■休日当番医診療時間 8時30分～17時30分

■日曜、祝日の夜間は、休日夜間急病診療所(熊野町、県薬剤師会館内 電話☎2266)へ、19時～23時

■日曜、祝日の歯科は県口腔センター(吉敷下東、県歯科医師会館内 電話☎1820)へ、9時～15時